

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： ESOP-107

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
食道がん	FP療法	21～28日間	【進行再発】 規定なし 【術前】 2コース	☒ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他	高	Jpn J Oncol 22: 172-76, 1992 Ann Surg Oncol 19: 68-74, 2012

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 100mL	点滴静注	15分	↓																											
②	5-FU 生理食塩液	800mg/m ² 1000mL	点滴静注	24時間	↓	↓	↓	↓	↓																							
③	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
④	マンニトール	300mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑤	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑥	フィジオ70	500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑦	デキサート 生理食塩液	6.6mg 500mL	点滴(側管)	60分		↓	↓	↓	↓																							

＜注意事項/備考＞

- ✓ 進行再発例では4週ごと（コース数の規定なし）、術前化学療法では3週ごと計2コースが目安
- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m²以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ 粘膜障害（5-FU）：下痢や口内炎の発現リスクあり
- ✓